中央放射線部核医学センターおいて骨シンチグラフィー検査を受ける患者さんへ

当センターでは、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、臨床研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	骨シンチグラフィー画像専用ソフト GI-BONE の有用性についての研究
担当科等	放射線科
研究責任者	放射線科　助教　勝田英介
研究の意義・目的	骨シンチグラフィー画像専用ソフト GI-BONE の臨床応用を目的としています。研究により本ソフトの癌に対する化学療法などの治療効果判定への利用が期待されます。
対象となる患者さん	当センターにおいて骨シンチグラフィー検査を 2016 年までに受けられる方を対象としています。(これから検査を受けられる方の中で研究にご協力いただきたい場合には研究内容の説明をさせていただきます)
研究の方法	骨シンチグラフィー検査では全身撮影を行い画像にします(SPECT 画像または SPECT/CT 画像と呼びます)。この画像を本ソフトで解析を行い、SPECT 画像（解析前の画像）との比較を行います。以前に同じ検査を受けられている場合は、その時に撮影した画像も解析に使用します。
研究期間	倫理委員会承認日　～　2016 年 12 月 31 日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 画像情報などの本研究への利用を拒否される場合、過去に検査を受けられた方は 2014 年度末までに、新たに研究参加の同意書をご記入いただいた方は研究参加後 1 か月以内に下記問い合わせ先まで申し出てください。(しかし、本研究では、画像データから患者さんの個人が特定できる情報とを切り離した上で研究を行います。そのため、その個人を特定できる情報を切り離した後は、利用の拒否の申し出があっても誰の画像か分からなくなっているため、画像の利用を止めることが出来ませんのでご注意ください。)
問い合わせ先	愛知医科大学病院　中央放射線部核医学センター 担当者：診療放射線技師　早川祐樹　電話 0561-62-3311（内線 35001）